

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度： 令和 3 年度

施設所管課： 厳木市民センター産業・教育 課

1 施設の概要

施設名	唐津市厳木温泉佐用姫の湯	所在地	佐賀県唐津市厳木町牧瀬34-2
設置目的	本施設は、温泉を利用し地域住民の健康及び福祉の増進を図り、憩いと交流の場として親しまれ、かつ、観光及び産業の振興に寄与し、地域の活性化を図ること。		
休館日	毎週火曜日 12月31日、1月1日	開館時間	会議室等 午前9時30分から午後9時まで 浴場 午前10時から午後9時まで

2 施設の利用状況

説明	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	利用状況の傾向と増減の要因
利用者	46,190 人	48,197 人	41,356 人	51,698 人	

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	株式会社 創裕			
	所在地	香川県高松市朝日新町17-15			
	代表者	川北 祐一郎			
指定期間	平成 29 年 4 月 1 日 ~ 令和 4 年 3 月 31 日				
指定管理者の業務内容	・佐用姫の湯の利用許可に関する業務 ・佐用姫の湯の施設及び設備の維持管理に関する業務				
事業の実施状況	温浴施設の管理運営 ・ボディーケアの強化 ・岩盤浴の実施 ・コミック本コーナー新設 ・幼児コーナー新設				
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等	非常勤 嘱託・臨時職員、パート等	常勤の内訳		
	8 人	2 人	正社員 2人(店長、副主任) フルタイムパート社員 6人 *創裕グループ他店舗からの応援あり		

4 収支状況

単位：円

	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	増減額
収入 (a)+(b)+(c)+(d)	59,519,450	57,420,146	2,099,304
指定管理料 (a)	20,421,954	20,421,954	
利用料金収入 (b) ※利用料金制の場合のみ	19,244,850	15,457,410	3,787,440
自主事業収入 (c)	13,986,589	18,582,093	-4,595,504
ベンダー売上	577,916	531,849	46,067
飲食売上	7,944,638	8,665,952	-721,314
その他売上	5,242,925	5,054,592	188,333
補助金、保証金等	221,110	4,329,700	-4,108,590
その他収入 (d)	5,866,057	2,958,689	2,907,368
支出 (e)+(f)+(g)+(h)+(i)	64,183,322	59,305,214	4,878,108
人件費 (e)	20,442,646	22,155,704	-1,713,058
施設管理費 (f)	35,511,755	28,874,209	6,637,546
光熱水費	19,232,644	14,552,790	4,679,854
修繕費	454,772	60,500	394,272
広告宣伝費	299,040	131,359	167,681
保守管理費	2,189,860	2,117,066	72,794
保険料	271,690	266,540	5,150
事務費	3,101,110	3,026,535	74,575
その他	9,962,639	8,719,419	1,243,220
事業費 (g)	8,228,921	8,275,301	-46,380
うち自主事業に伴う 経費	6,913,326	7,490,102	-576,776
施設使用料 (h)			
その他支出 (i)			
収支	-4,663,872	-1,885,068	-2,778,804
前年度の損失補填額を除いた 実際の収支	-7,381,136		
利益配分額			

※2年度の収入について、
計上項目の一部見直しを
行いました。

5 項目別評価

評価項目		自己評価	市の評価
1 業務の履行状況			
(1) 運営業務（全般）			
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。	適	適
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。	適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。	適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。	適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。	A	B
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。	適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。	適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。	適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。	適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。	A	B
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。	適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。	適	適
(2) 維持管理業務			
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。	適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。	A	B
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。	A	B
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。	適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。	適	適

2 サービスの質			
(1) 運營業務（利用者対応、情報発信等）			
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。	適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。	適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。	適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。	適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	B	B
③利用者アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。	B	B
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。	A	B
④施設の利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。	A	B
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。	適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。	A	B
(2) 事業実施状況			
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。	適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。	A	B
(3) 地域貢献			
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。	適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。	A	B
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。	A	B
3 継続性・安定性			
(1) 運營業務（経理事務、予算執行等）			
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。	適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。	適	適
(2) 収支状況			
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）	A	B
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。	A	B
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）	A	B

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

6 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	B	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント コロナ禍において収益増には厳しい年が続いている。コロナ禍でなければ入館者は今以上に増員できたと思う。しかし、入館者が増えても増収増益につながると限らない。一番の収益は飲食の収益であり、その為の自主事業及び広報等が必要であり、現状はPR不足を感じる場所である。 利用者については、前年度1万人増であるが、コロナ前に対しては、近隣の温泉施設の状況変化による多少(約3千人)の増加にとどまっている状況となっている。利用者取り込みのため岩盤浴の利用料引き下げなどのほか、子供無料日の設定など引き続き実施している。また、設備の老朽化対応のメンテナンスを自社努力により施す。
	2 サービスの質	B	
	3 継続性・安定性	B	
総合評価		B	